

澄んだ瞳

第75号
令和5年8月号

発行
相生市教育委員会
相生市人権教育研究協議会

がっ じんけんぶんか
**8月は、「人権文化をすすめる
けんみんうんどう
すいしんきょうちゅうげっかん
県民運動」推進強調月間です！**

「人権文化」とは

日常生活の中で、お互いの人権を尊重
すること、自然に感じたり、考えたり、
行動することが「当たり前」になった生活
をいいます。

「はじめての シャトルラン」



きょう、シャトルランをしました。シャトルランで21てんでした。はじめてやった、たのしかったです。

おにいちちゃんとおねえちゃんたちががんばっていたからおうえんしたよ。

「がんばれー！」とおうえんしたよ。

わたしも6ねんせいになったら、あんなふうにたくさんはしりたいです。

(小学1年生)

「リハビリ」

わたしは、一年生のけんこうしんだんで、せぼねがまがっていることに気づきました。みんなのようにまっすくなしせいであることがしんどいです。なおす方ほうは、お母さんがせっこついのりハビリをたんとうしている、ので、ストレッチだと教えてもらいました。しかし、せぼねがまがっているのをなおすのは、とてもしんどくて、なかなかできませんでした。なんで自分はそんな体のびよう気になったのかふしぎで、二年生のころはすごくないていました。

三年生になって体も強くなり、ストレッチもじょうずになり、せぼねもなおってききました。

ある日、お母さんがせんたくバサミをしごとにもって行くのを見て、何に使うのかふしぎに思っ、たずねました。お母さんは「か

んじゃさんのにぎる力をつけるためにもつていくんや」と教えてくれました。また、足の動きをよくするリハビリもあることを教えてくれました。

わたしは、自分だけがリハビリをして、がんばっているのかと思っていたけれど、自分だけじゃないとはじめて知りました。とてもホッとしたし、れん習すればよくなるということが分かってもっとがんばろうと思いました。そのようなりハビリの手助けをしているお母さんがかっこいいとかんじだし、お母さんのようになりたいなと思いました。

あいさつ



(小学3年生)

わたしの住んでいる地いきは、高れい者の方がたくさん住んでいます。わたしが朝、登校するとき、「おはようございます。」と

あいさつをすると、えがおで「おはよう。いってらっしゃい。」と元気に返してくださいます。わたしは、そんなおじいさんおばあさんのすがたに毎朝、はげまされています。だから、わたしも高れい者の方に出来ることはなんだろうと考えてみました。

すると、元気な声とニッコリえがおであいさつをすること、しんどそうな人がいたら、「大丈夫ですか。」と声をかけることの二つが頭に思いつきました。それならわたしにもできそうだなと思ったからです。わたしがだん、おじいさんおばあさんに元気をもたらしているから、わたしもきちんと恩返しをしたいです。



(小学4年生)

「ペーロン体験乗船」

今日のペーロン体験乗船をふり返って分かったことは、かいでこべということはとても難しいことです。

私は、海で船に乗ることが初めてだったので、いい経験になりました。最初は、船が

揺れて、こわくて泣いてしまいました。泣いていた時、六年生の友だちが、「大じょうぶ。」とやさしく声をかけてくれて、うれしかったです。おかげで元気が出ました。

こぎ終わったとき、手がしびれてとても痛かったです。でも、みんなと声を合わせて、速くこげて、とてもうれしかったです。ドラやたいこをたたく役の六年生も、上手に音が出せていてすごいなと思いました。また、楽しくみんなでペーロン船をこぎたいです。



(小学4年生)

「運動会を終えて」

運動会で私が一番がんばったのはリレーです。

今年のリレーは入場した後にチームごとのかけ声を言って決めポーズをとります。練習の時に水色チームのみんなで、「本番



一生けんめいに走れるように」と真剣に考えてかけ声とポーズを決めました。

本番はみんなの願いがこもったかけ声をチームみんなで元気よく言ったので、最後まであきらめずに走りました。結果は残念ながら負けてしまいました。でも、自分たちの出番も友だちの応援も係の仕事も、すべて楽しんでやり切ったから、私は赤組も白組も勝ちだと思っています。だから今年の運動会は成功したと思います。

(小学5年生)

「ぼくにとっての友だち」

ぼくにとって友だちは宝物です。なぜかというとき一緒に笑う。泣いている時になぐさめてくれる。こまっている時に助けてくれる。いろいろな場面でやさしく、楽しく、元気にしてくれるからです。

この大事な大切な宝物は、世界に一つだけです。だから友だちは宝物なのです。



友だちとは、遊んだり、笑ったり、時々けんかもします。けれどぼくは、友だちと色々なたいけんをしていくことで、もっと仲良くなっていくのだと思います。友だちといると楽しいです。ぼくの心がポツとあったかくなります。

今、ぼくは幼稚園からずっといる友だちや新しく出会った友だちがいます。友だちとこれからたくさんさんの思い出を作りながら、ぼくの心の中の宝箱にしっかりと友だちとの宝物をためていきたいです。

(小学6年生)

「中学生ペーロン大会に参加して」

今日は久しぶりにペーロンをこぎました。久しぶりだったから上手にこげるか不安だったけど、色々な人が優しく分かりやすく教えてくれたので前と同じようにこぎました。練習の時、とても腕が痛かったけど、声を出していたら大丈夫でした。競漕をする時には、かなり緊張しました。でも、頑張って声を出しながら手を動かしました。負けても勝っても、とても楽しくて良い思い出になりました。

また、教育実習の先生とも一緒にこげてとてもうれしかったです。全学校の中で二位だったのは、少し悔しいですが、一年一組が力を合わせて、一生懸命声を出してリズムを合わせてこげたので良かったです。

そして、中学生ペーロン大会が開かれるのが、久しぶりだと聞いて、今年は新型コロナウイルス感染症の影響や雨などがなくて、無事開催できたのが一番うれしいなと思いました。この何年も受け継がれてきているペーロンを相生の誇りに思っ、大切にしていけたらなと心から思いました。

(中学1年生)



「トライやるウィークでの体験」

ぼくは、トライやるウィークで、町のパン屋さんに行きました。そこでは、パンを作ったり袋詰めをしたりしました。

一緒に活動しているAさんは、足を骨折していたのですが、パン屋のみなさんは、Aさんのことを気づかって、いすを持ってきてく

れていました。また僕には、丁寧に優しくパンの作り方を教えてくれました。

初日はとても緊張していて、あまりテキパキ行動できませんでした。しかし、優しく教えてくださったおかげで、緊張がほどけて、テキパキ行動できました。Aさんも、助けてもらったら、「ありがとございます。」と元気に明るく答えるし、とても作業を楽しくしていて、僕も明るく行動できました。

トライやるウィークで、作業するという楽しさや厳しさを学べました。僕も働ける年になったら、頼まれたことをすぐ行動したり、言われなくても自分から動けたり出来るような人になりたいです。

(中学2年生)



「初めの第一歩」

みなさんは、人を助けることの難しさを知っていますか。

私は今まで人を助けるといことはこんなにも怖くて勇気のいることだと思ってい
ませんでした。何かあれば誰かを呼べばいい
だけだと、軽く考えていました。
しかし、いざとなると怖くて足がすくんで
しまいました。

ある日の下校中、いつもの通学路を歩いて
いると、一軒の家の前でおばあさんが植木鉢
に頭を打って倒れていました。私は衝撃
のあまり立ち尽くしてしまいました。「何と
かしないと。でももし死んでしまっていたら
どうしよう.....」

良くない考えが浮かび、なかなか行動で
きずにいましたが、このままではいけないと
思い、ようやく声をかけました。すると、お
ばあさんは急に目を見開いて、「首が痛い。
お隣さんを選んできてほしい。」と言いまし
た。返事を聞いて本当に安心しました。

私は急いでお隣さんのインターホンを
押して、事情を説明しました。感謝をされて
本当に嬉しかったし、勇気を出して良かった
と思っています。

実際に行動することはとても勇気のいる
一歩だと思えます。しかし、私はこの経験の
おかげで、この先困っている人がいても迷わ

ず声をかけられると思います。



(中学3年生)

かていたいわ

家庭対話ウィーク

7月21日(金)〜27日(木)

心と心を受けとめ合う会話、肌と肌で感
じるぬくもりのあるふれ合い。安心して、お
互いの気持ちを話し合う場所が家庭です。
話をゆつくりと聞き合う機会が少なくなっ

てきていると言われます。
家庭は人権文化の最前線
とも言われます。

あたたかい家族の関係を
みんなで育んでいきたい
ですね。



〈非核平和展〉

日時 8月2日(水)〜17日(木)

(※8日、4日、5日、16日は休館日)

会場 相生市文化会館(1階エントランスホール)

内容 非核平和ポスター、ヒロシマ・ナガ
サキ原爆写真パネルの展示等



〈人権の集い〉

出演 ダイアン 吉日さん

講演 「ダイアンから見た日本

〜笑いで世界を一つに〜」

日時 8月9日(水) 時間 8分
会場 相生市文化会館大ホール

〈PTCA実践発表会・

人権ふれ愛シネマ〉

日時 12月2日(土) 時間 3分
会場 相生市文化会館大ホール

シネマタイトル「梅切らぬバカ」

14時10分(予定)

※全て入場無料